

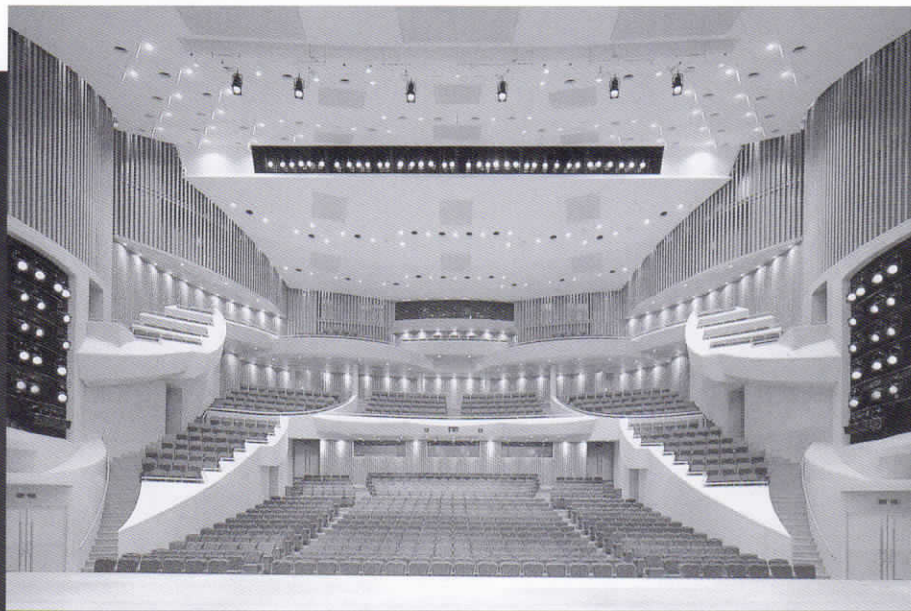
聴いてくださる

。

<新黒部市誕生記念>

第8回 名水の里

第九コンサート  
*Symphony No. 9*



2006.12.17

会場／黒部市国際文化センターコラーレ（カーターホール）

## *Program*

---

ベートーヴェン : 交響曲第九番ニ短調 作品125「合唱」

モーツァルト : 歌劇「魔笛」序曲

指 揮 ● 横島 勝人

管 弦 楽 ● 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

ソリスト ● 岩井 理花 (ソプラノ) 阪口 直子 (アルト)

伊達 英二 (テノール) 水野 賢司 (バリトン)

合唱指揮 ● 浅岡 節夫

合 唱 ● 黒部で第九を歌う会



黒部で第九を歌う会会長  
**島倉 敏夫**

Toshio Shimakura  
Executive Director, International Music Festival  
President, Beethoven's Symphony No.9 Choir

## ごあいさつ

ベートーヴェンが「自由」「博愛」「平等」の世界を夢見て渾身の力を振り絞って作曲した交響曲第九番「合唱付」コンサートを、横島勝人先生の指揮、富山シティフィルハーモニー管弦楽団の演奏、黒部で第九を歌う合唱団の合唱で演奏できますことはこの上ない幸せです。

黒部の第九コンサートは国際文化センター「コラーレ」が建設される以前に2回、コラーレオープニング記念イベントとして第3回目が平成8年に、その後は、市の節目毎に2~3年に一度開催され、今回は第8回となります。姉妹都市のアメリカ・メーコン市公演を含めると通算9回を数えます。黒部で第九を歌う会会員の第九への情熱と、聴衆市民の感動がこのように継続するエネルギーになって来ました。もちろん黒部市、同教育委員会のご支援はじめ市内外の企業団体個人の貴重な経済的ご協力をいただきましたことが何よりの支えでありますこと改めて厚くお礼を申しあげたいと存じます。

新生黒部市がこれからの永い未来に向けて発展をし、地域に光り輝く文化都市への歩みを続けることを夢見て団員一同心を込めて精一杯「大自然のシンフォニー」を奏で、歌い上げ、ご来場の皆さんと「第九」の感動を分かち合いたいと存じます。ベートーヴェンのこの「第九（合唱付）交響曲」は「歓喜の歌」と称されますが、「人類みな兄弟になろう」と世界平和を希求する内容であり、今の混沌たる世界において人類の未来への希望を託する気持ちを表現するものであります。

どうか皆様には第九コンサートを全身で心の底からお楽しみいただきますようお願い申しあげてご挨拶いたします。



黒部市長  
**堀内 康男**

Yasuo Horiuchi  
Mayor of Kurobe

## お祝いのことば

『名水の里第九コンサート』が、ここ黒部市国際文化センターコラーレにおいて盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

8回目となります今回の公演は、新黒部市誕生記念として企画されたものであります。旧市町の垣根を越え、市民が心をひとつに結集した歓喜の歌声がホールに響きわたることを想うとき、まさに新黒部市誕生にふさわしく、心から称賛の言葉を贈るものであります。

自由と平等、世界平和の祈りが込められた歌声は、新黒部市の輝ける未来に繋がる感動のハーモニーとして観客を魅了し、いつまでも市民の心に刻まれることでしょう。

黒部で第九を歌う会の皆様には、音楽を通じた地域文化の創造を実践されるとともに、その活動は国際交流や文化芸能など各方面へ大きな影響を与えており、皆様の情熱に敬服するとともに、本市の大きな誇りでもあります。

本日を迎えられるまで、ご支援とご協力を賜りました関係諸団体、関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様には重ねて敬意と謝意を表しつつ、本日のコンサートの大成功を御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



北日本新聞社代表取締役社長  
**梅沢 直正**

Naomasa Umezawa  
President, Kita-Nihon Newspaper

## 新市に響け「歓喜のハーモニー」

このたび、新黒部市の誕生を記念して「名水の里第九コンサート」が盛大に開催されますことを、主催者の一員として心からうれしく思います。

市民の熱意によって1993年に産声を上げたこの第九コンサートも、歴史を重ねて今回で8回を数えます。「黒部で第九を歌う会」の皆さんを中心とした、文字通り市民手づくりのコンサートは、これまで聴衆に多くの感動を与えてくれました。海外の姉妹都市から指揮者や合唱団員を迎えるなど、国際交流の盛んな黒部市ならではのユニークな「第九」は、県民に広く浸透しています。

今回、旧宇奈月町の皆さんも加わって、さらにスケールアップした第九が新黒部市の新たな門出を祝福します。指揮者に新進の横島勝人氏を迎え、歌う会と共に第九をつくりあげるオーケストラは、地元の富山シティフィルハーモニー管弦楽団、ソリストには黒部市出身の岩井理花さんから充実したメンバーがそろい、おおいに支流が深まることを期待しています。北日本新聞社が毎年開催しています「第九交響曲 歓喜の夕べ2006」（12月25日、オーバード・ホール）も今年で42回の歴史を刻みますが、黒部、富山の「第九」が共に成功することを願っています。

本番に向け、合唱団、オーケストラの皆さんは4ヶ月余りにわたり厳しい練習を積んでこられました。地道な努力が実を結び、素晴らしい「歓喜の歌声」がコラーレ・カーターホールに響き渡るに違いありません。

終わりに、開催にあたりご協力賜りました黒部市、県合唱連盟はじめ関係各位に厚くお礼申し上げ、ごあいさつといたします。



北日本放送代表取締役社長

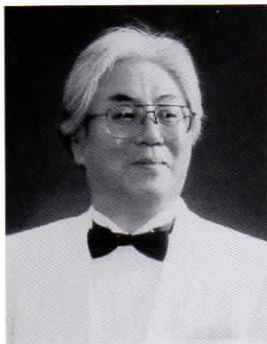
横山 哲夫

Tetsuo Yokoyama  
President, Kita-Nihon Broadcasting Co.

### ごあいさつ

「名水の里第九コンサート」の開催おめでとうございます。今年は黒部市と宇奈月町合併による新黒部市誕生を記念した事業としての開催です。これまで最多の200名のみなさんが参加しての「第九」が新しいハーモニーを生み出すことを本当に楽しみにしております。

また、今年は、様々な機会第九を指揮し絶賛を博しておられる横島勝人氏をはじめお迎えすることになりました。横島氏の指揮により引き出される新たな「第九」の魅力と歓喜のハーモニーが、黒部の地から世界へと広がっていくことを心から期待しています



富山県合唱連盟理事長

森川 紀博

Norihiro Morikawa  
Board of Directors, Toyama Chior League

### ごあいさつ

新黒部市誕生記念、第8回名水の里第九コンサートの開催、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

県東部の合唱仲間のリーダーとして活躍してこられました「黒部で第九を歌う会」の皆さんの熱意と努力に連帯の拍手をおくります。

新しい市の誕生は、合唱を愛する仲間の輪の広がりを大きくし、ベートーヴェンが「第九交響曲」を通して私たちに送ったメッセージが実現されようとしています。

『Alle Menschen werden Brüder』（全ての人々が同胞・友人になる）

音楽を愛し、合唱を愛する皆さん、共に手を携えて仲間の輪を大きくして、声高らかに歌いましょう。歌の主人公は、私たちです。私たちのメッセージを歌いましょう。

ご盛会おめでとうございます。

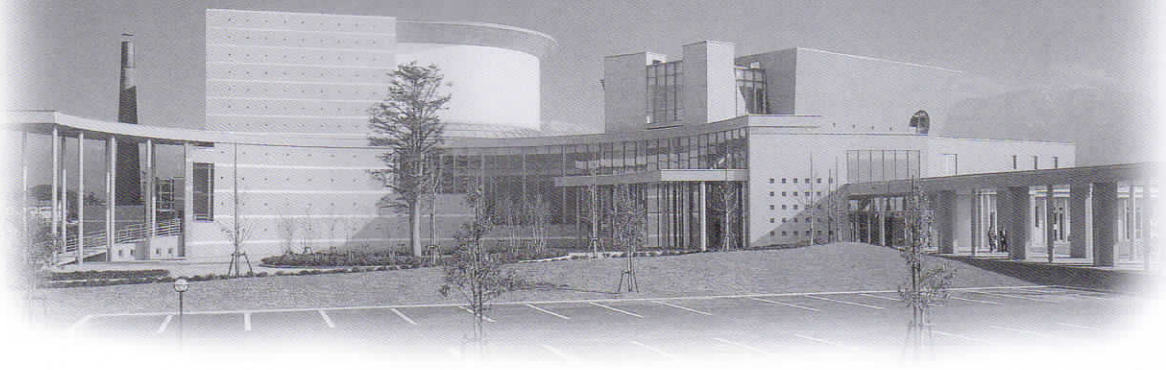




Photo : Masashige Ogata

## 指揮者：横島 勝人

*Katsuto Yokoshima*

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。

1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セグド交響楽団主催セミナーにてユリウス・カルマー、エルヴィン・アツェルの各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。

1998年、オランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれ、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーンキュンストラ交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエステルハーザー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ“天地創造”を指揮する。2003年にはプラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、プラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。

2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。

2005年7月、ドイツ ライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ：ロ短調ミサを、ゲヴァントハウスで「第九」を指揮し、絶賛を博した。

2006年9月、10月には、ウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮。

### これまでに指揮したオーケストラ

- ・ハンガリー国立セグド交響楽団
- ・マーフ・ブダペスト交響楽団
- ・オランダ放送管弦楽団
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・東京シティ・フィルハーモニック 管弦楽団
- ・大阪センチェリー交響楽団
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団
- ・広島交響楽団
- ・関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・京都市交響楽団
- ・奈良フィルハーモニー管弦楽団
- ・東京佼成ウィンドオーケストラ
- ・大阪市音楽団 他



## 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

県内初の社会人オーケストラとして1983年に誕生。以来、県民に愛されるオーケストラを目指して、各種音楽活動を展開している。オーケストラ演奏をこの上ない楽しみとする団員たちは、現在約80名で、週末の練習日に県内一円から活動拠点の、富山市民芸術創造センターへ集まってくる。射水市に居住の団員も多く含まれる。

団員の平均年齢は40代前半であり、家庭においては子育て真っ最中という人が多いので、小さな子供を連れて練習に参加できるよう託児室を設けて活動をサポートしている。

主な活動は、定期演奏会をはじめとして、地域コミュニティーコンサートなど年間3〜4回の演奏会を実施しており、毎週の練習もアットホームな雰囲気の中にも、充実した内容で行われているまた、全国のアマチュアオーケストラとの交流にも積極的に取り組んでいる。

メンバー							
<b>1st Violin</b>	中川 洋司 (コンサートマスター)	大西 さやか	丘山 ひろみ	塩崎 章子	高橋 久美子		
	名執 純子 沼田 典子	廣田 弘美	又場 龍大	松下 タエ	信原 聡子 (賛助)		
<b>2nd Violin</b>	宮本 範子	朝木 晴美	上田 洋子	橋屋 幸美	松下 亮	吉澤 真弓	
	米丘 博	米沢由佳子	渡辺 優子	竹内 史哉 (賛助)	前川 仁志 (賛助)		
<b>Viola</b>	大森 祐子	佐々木利佳	篠原美奈子	高田 亮二	中 秀晃	松島真二郎	
	吉田 彰	藤田 学洋 (賛助)					
<b>Violon cello</b>	江川 朗子	川東美千代	島田 育子	島田 一恵	素野亜希子	西谷 英輔	
	広田 弘毅	朴谷 修	松島健一郎				
<b>Contrabass</b>	福原 祥公	吉沢 克仁	表 貴之 (賛助)	長田 愛乃 (賛助)	三宅 克典 (賛助)		
<b>Flute</b>	石田 孝弘	伊藤ひでみ	竹森 恵美	吉澤美和子			
<b>Oboe</b>	北岡 明	北岡 佳苗	保科 浩一	松嶋めぐみ			
<b>Clarinet</b>	大田 昌子	佐々木桂治	古川 友紀	横井 省二			
<b>Fagotto</b>	小島 さやか	篠崎 秀一	永原 千春	永原 秀樹			
<b>Horn</b>	上野 祐子	川添 等	坂井 禎	宅美 俊史	中島 浩史	野崎 美保	
	安川 幸治	安川 哲二					
<b>Trumpet</b>	上田 智之	松住 一史	南 昌樹				
<b>Trombone</b>	岩城 悟	大田 昭男	藤井 良浩				
<b>Percussion</b>	高本 篤志	花房 清直	山口 雅美	川添 等 (extra)			

## Solist

### ソプラノ 岩井 理花



プリズムで分光された色鮮やかなスペクトルを思わせる岩井理花の歌声、あたかもスコールが去って南国の海に現れた虹を仰ぐかのようにファンタスティック。じつに3オクターブに近い声域をひと筆で旋律線を描くさまは天衣無縫というか天にたなびく羽衣の風情か。絹糸さながらびんと張って繰り出されたリリコ・スピントの歌声は天性の集中力で更に研ぎ澄まされ、はかなくも美しく燃える女の情念となってほとぼる。そんなカリスマ性を華麗な舞台姿に秘めて、聴いてよし見てよしの歌姫、岩井理花。まさに新しいオペラ感覚の、美と感動のドラマを呼ぶプリマの華といえよう。東京芸大大学院修了後、ミラノ留学中にポリテアマ歌劇場で《ボエーム》のムゼッタ役で海外デビューを飾って国際舞台で活躍。帰国後、小沢征爾の《トスカ》、若杉弘《サロメ》《蝶々夫人》と、両マエストロの指揮でヒロイン役を演じ見事大輪の花を咲かせた。95年度ジロー・オペラ賞を受賞。可憐で謙虚な人柄に似つかわしい一輪の牡丹がいま濃く咲き誇る。創造学園大学特任助教授、愛知県立芸術大学及び、東京音楽大学非常勤講師。



### アルト 阪口 直子

武蔵野音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修了。三池三郎、G.ファヴァレットの各氏に師事。武蔵野音楽大学在学中に《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ役で出演。大学院在学中にはヴェルディ《レクイエム》及びバッハの《短調ミサ》のアルト・ソロを務める・1984年度文化放送音楽賞受賞。1985年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院夏期講習に参加し、最優秀賞を受賞。《第九》《メサイア》をはじめ、ヴィヴァルディとベルゴレージの《スタバト・マーテル》、バッハ《クリスマス・オラトリオ》、モーツァルト《レクイエム》《ハ短調ミサ》、ロッシーニ《小荘厳ミサ》、メンデルスゾーン《エリア》(N響定期、サバリッシュ指揮)、ブラームス《アルト・ラブソディー》、マーラー《交響曲第2番 [復活]》等のソリストとして活躍。オペラではチェステイ《オロンテア》コリンド、モーツァルト《フィガロの結婚》マルチェリーナ、ロッシーニ《ランスへの旅》メリペーア侯爵夫人を演じる。国立音楽大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー、日本ロッシーニ協会会員、日本フォーレ協会会員。

### テノール 伊達 英二



国立音楽大学卒業。'83年、藤原歌劇団のクルト・ヴァイル作曲「マハゴニー市の興亡」のジムで主役デビュー。その後、二期会オペラ公演。'91年ワーグナーに挑戦、「神々の黄昏」のジークフリート役でジロー・オペラ賞新人賞受賞。二期会公演「ワルキューレ」のジークムント役でヘルデン・テノールとしての地位を確立した。又、日本人作曲家のオペラにも積極的に出演、三善晃の「遠い帆」宣教師役では各方面から絶賛を浴びた。最近では、2005年9月、三木 稔「じょうり」の3人の訪問者役(1人3役)や2006年1月「夕鶴」の与ひょうでの名演が記憶に新しい。コンサート歌手としても「第9」を始め「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリスト、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、マーラー「大地の歌」等で活躍。テノールとして強い声も柔らかい音色も揃える数少ない存在である。又、ナレーターや、合唱指揮、コンサートの司会や吹き替え、俳優齊藤晴彦と舞台で共演するなど守備範囲は広い。最近では、インテルのCMの裁判長役でも注目を浴びた。現在、二期会会員・東京音楽大学専任講師。



### バリトン 水野 賢司

東京藝術大学卒業。同大学院修了。在学中安宅賞受賞。伊藤亘行、芳野靖夫の両氏に師事。毎日コンクール2位、日伊コンクール2位入賞。芸大メサイアのバスソロを歌う。皇居にて御前演奏を行う。何でもやりたがりの性格でオペラに歌曲に宗教曲、お国は日本、イタリア、ドイツ、ルネッサンスから現代曲、シリアスな曲からコメディ、子供の歌から演歌までと、節操のないレパートリーを誇っている。日本人としての特質を生かして？日本語の歌に関しては特別の思い入れがあり、多くの作品に関わって来ている。青島広志氏をはじめ関宮芳生氏、入野義郎氏、松村禎三氏、吉川和夫氏、大中恩氏、團井久磨氏、伊福部昭氏、等の歌曲やオペラを歌う機会を得た。又、若手作曲家に新作を委嘱して「THE WORLD OF KENJI」のタイトルでユニークなりサイトを主催する。舞台、録音、後進の指導等幅広く活動している。東京音楽大学教授。



## 歡喜の歌

### 《ベートーヴェンの自作》

おお、友よ、この音楽ではない。  
もっとこころよい、  
もっと喜びに満ちた音楽を、  
われわれはかなでよる。

### 《F. シラー原詩》

喜びよ、美しい神々の火花よ、至福の島のエリージウムの娘よ、  
われわれは火のように酔いしれて、崇高なところ、おまえの聖所へ踏み入る。  
おまえの魔力は世のならわしがきびしく別けへだてたものを  
ふたたび結び合わせ、すべての人びとは  
おまえのやさしい翼のやすらうところに兄弟となる。  
一人の友の友となる大きな成功を得たものは、  
やさしい妻をかち得たものは地上にただ一つの魂でも  
自分のものと呼びうる者は、その歡喜をともにせよ。  
そしてそれらができなかつた者は、  
泣きながらひそかにこの仲間から立ち去るがよい。

すべてのものは自然の乳房から喜びを飲む。  
すべての善いものも、すべての悪いものも、  
自然のバラ色の道を辿ってゆく。自然はわれわれに接吻を与え、  
ぶどうと、死の試を経た友を与えた。快樂は虫に与えられた。  
そして光の天使ケルブは神の前に立つ。うれし気にひかりかがやく太陽が  
壮麗な天界をわたるように、兄弟たちよ、  
英雄が勝利に向かってすすむように、きみたちの道を喜ばしく進め。

数百万のひとびとよ、抱き合え。この接吻を、全世界へ。  
天空のあなたに愛する父が住んでいるにちがいない。  
きみたちはひざまづくか、  
数百万のひとびとよ。  
創造主に気付くか、世界よ。  
天空のあなたに創造主を求めよ。  
星の彼方に彼は住んでいるに違いない。

O Freunde, nicht diese Töne !  
Sondern laßt uns angenehmere  
anstimmen, und freudenvollere.

Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,  
Wir betreten feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum!

Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;  
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen, Eines Freundes Freund zu sein,  
Wer ein holdes Weib errungen, Mische seinen Jubel ein !  
Ja, wer auch nur eine Seele sein nennt auf dem Erdenrund!

Und wer's nie gekonnt, der stehle.  
Weinend sich aus diesem Bund !

Freude trinken alle Wesen, an den Brüsten der Natur;  
Alle Guten, alle Bösen Folgen ihrer Rosenspur

Küsse gab sie uns und Reben, Einen Freund, geprüft im Tod;  
Wollust ward dem Wurm gegeben, Und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen, fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,  
Laufet! Brüder, eure Bahn, freudig, wie ein Held zum Siegn.

Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt !  
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen ?  
Ahnest du den Schöpfer, Welt ?  
Such' ihn überm Sternenzelt!

Über Sternen muß er wohnen.

## Program Note 曲目解説

### 交響曲第九番 二短調 作品125「合唱」

ベートーヴェンが「第九」を完成させたのは1824年の春まだ浅いころのことである。当時すでに53才になっていた彼は聴覚をまったく失っていた。しかし、その偉大なる精神と長年心の中に暖めていたシラーの詩への熱い思いが、この大曲を完成に導いたのである。

ベートーヴェンがシラーの頌歌「歓喜に寄す」に出会ったのは、まだ20代の初めのころ。この詩の底に流れる民主的な思想にたいへん感激したベートーヴェンは、その時からいつかこの詩に曲をつけたい…と願っていたのである。その積年の思いがようやく実行に移されることになったのは47才のとき。実に30年という歳月を経て初心を貫いたことになる。

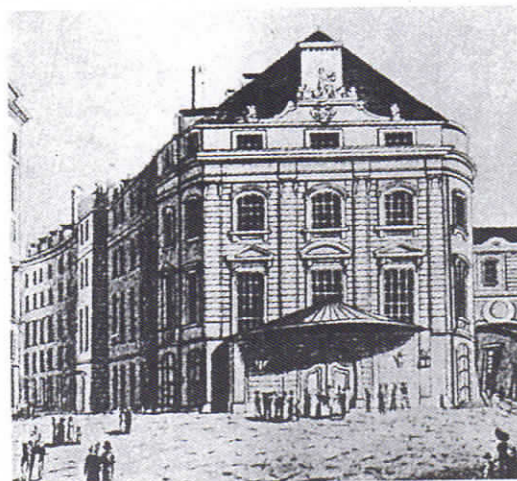
ベートーヴェンはこの偉大なる交響曲で一体何を言いたかったのか。自分自身の苦悩を経て喜びへ、ということだけでは決してないはず。彼は生涯独身であった。しかし、女性にアコがれ、友人を求め、弟や甥などの家族を大切にした。彼は人間をこよなく愛する人であった。この冒頭の「友よ!」という呼びかけは、すべての友に対するものなのである。自分のまわりの友、世界の友、そして時を越えて、21世紀に生きている私たちにも「友よ!」と語りかけているのだと思う。「みんなで苦しかったことを忘れ、明日に希望をつなごうじゃないか。」とベートーヴェンは言いたかったのではないか。その温かな人間好きのベートーヴェンの心情が音楽から感じられるからこそ世界の人々にこんなにこの曲が愛されているのではないだろうか。彼はモーツァルトのように天才とは呼ばれないし、バッハのように家庭に恵まれたわけでもない。そしてシューマンのように繊細とも評されないし、ショパンのように容姿に恵まれたわけでもない。ベートーヴェンは努力の人といわれ、私たち普通の人間の代表格のような親密感を備えている。そんな感情を持ったベートーヴェンが、すべてのものに対する愛がいかに大切かということ、その音楽で訴えていると思う。

#### ◆第1楽章 Allegro ma non troppo un poco maestoso

広大な宇宙を思わせる神秘的な力強い旋律が、壮大な交響曲の開始を告げる。これは人生の苦悩や悲しみ、希望や慰めなどあらゆる感情が表現されている楽章である。ベートーヴェンは自分の生涯を振り返り、人生を戦いに例えたのではないだろうか。劇的で強いメッセージを持つ、幕開けにふさわしい音楽である。

#### ◆第2楽章 Molto vivace

弦の鋭い響きが全体に躍動感を与えている。また、ティンパニの小気味よいリズムも印象的である。これは初演時に大きな喝采を持って迎えられた楽章である。衝撃的なティンパニの独奏は当時の人々を驚かせ、アンコールの拍手がなりやまなかったとか。魂が浄められるような美しさそしてユーモアの精神も感じられる。



「交響曲 第9番」が初演された、ウィーンのケルントナー劇場。

## モーツァルト： 歌劇「魔笛」序曲

### ◆第3楽章 Adagio molto e cantabile

美しいゆるやかな楽章で、神への感謝を表すような祈りの気持ちが表現されている。やすらかな主題の変奏にはさまれた中間部が特に美しく歌われる。終わり近くのホルンの長いソロは、この時代としては画期的な用いられ方だったよう。歓喜を前にしたやすらぎを感じさせ、来るべき何物かに心の準備をうながすかのようである。

### ◆第4楽章 Prest-Allegro assai

プレスト（きわめて速く）のファンファーレから始まり、低弦が何かを語りかけるようにレシタティーヴォを奏でる。続いてこれまでの3つの楽章の主題が少しずつ順番に現われてはそのたびにレシタティーヴォが打ち消し、そしてついにあの「歓喜の主題」が聞こえてくる。やがて大音響とともにバリトン独唱によって「おお、友よ、このような調べではなく、もっと快い、喜びに満ちあふれた調べを歌おう」と力強く歌われ、独唱、重唱、合唱、オーケストラを一体化した歓喜の合唱「抱かんもろ人よ、心あわせて…」が始まる。歌はオーケストラに従うことなく、またオーケストラは歌に従うことなく、互いに豊かに融合し合っているのである。

今年、モーツァルトの生誕250年を記念して世界中で彼の作品が演奏・上演されている。若きベートーヴェンに大きな影響を与えたとされるモーツァルトの作品を第九交響曲の前に聴くのもなかなか粋なものである。

このオペラは興行師シカネーダーのすすめにより1791年に作曲された。今までの彼のオペラは歌詞がイタリア語で書かれていたが、このオペラは始めてドイツ語で書かれた。また、その台本や音楽には、モーツァルトやシカネーダーが加わっていた秘密結社フリーメーソンの思想が象徴的に取り入れられているとも言われている。

オペラの舞台はエジプト。僧ザラストロに夜の女王の娘パミーナが囚われの身になったことから、夜の女王はエジプトの王子タミーノに娘の救出を依頼する。しかし、ザラストロが高徳の僧であることを知った王子と娘は彼の教えに帰依し、魔法の笛の力を頼りに数々の試練を乗り越えて結ばれる。そして夜の女王の力は失せてしまう。

序曲は、アダージョの序奏とアレグロの主要部からなるが、その冒頭の力強い三つのハーモニーはオペラの中でもあらわれ、ザラストロの深い信条を表していると言われている。

# Chorus 黒部で第九を歌う会

## ソプラノ

大田 ゆか子	大辻 智子	大野 美鈴	小熊 房江	角本 睦子	川尻久美子
河村 晴美	桐 富子	近藤 桂子	佐竹ひとみ	沢田みどり	篠崎富美子
嶋尾早紀子	杉沢 禎子	中島 弘美	長田 雅子	西山 靖子	高見 玲子
谷川久仁子	花岡 美帆	平野 朝子	廣木とも子	松尾 珠美	三浦 博子
村田美紀子	村椿 尚美	森山 静子	吉田喜代美		
<入善高校>	岩井 香織	尾澤 美里	坂田 芙衣子	澤田 明梨	中村 友香

## アルト

青山 今日子	朝田美尾子	kirsten Anderson	池田 優香	石川 和子	石塚美紗緒
泉 幸子	稲場千恵子	稲守千榮子	岩井 清美	大坪由美子	大割 繁子
荻野 敦子	金沢ゆかり	川瀬 禮子	岸上七百子	木戸 利子	木本久美子
草野智恵子	草野 洋子	熊野 幸子	五艘万里子	近藤外喜子	堺井小百合
沢泉 好美	島瀬 節子	高村 広子	竹 美世子	立野 富子	寺西 優子
徳本しのぶ	東狐 和	中島二美子	中坂 陽子	中松 和子	中村千津子
長崎 絹恵	南部 富子	前田 ふさ	松澤祐香子	松村美智代	南塚美代子
宮崎 邦子	村井 富子	村瀬 靖子	森 多加子	花岡 光子	晴枝 富子
舟本 順子	山本 祐子	安原 麗子	山岸はる江	山瀬由美子	余西 典子
米屋 昌子					

## テノール

伊東 景治	上田 洋一	大野 久芳	金田 志信	越 雄一	紺屋 範雄
滝本 武	南保 弘幸	八川 進	広野 誠	藤田 信幸	松倉 正機
松原 英樹	宮崎 昌訓	米沢憲二郎			
<龍谷高校>	内橋 啓介	<富山商業高校>	大丸 智史		

## バス

君島 健士	島倉 敏夫	田中 義三	田中 義郎	浜田 敏明	John Penewit
松谷 茂樹	村瀬 葎雄	吉崎 嗣憲	米田隆太郎		
<富山第九合唱団>	石倉 康宏	黒田 謙一	土肥 弘幸	野住 勝徳	村川 正治
<射水第九合唱団>	小杉 真也	高橋 興一	南條 隆夫	松田 徹	宮丸 勝
					広沢 求



## 黒部で第九を歌う会役員

■ 名誉会長	森丘 實																			
■ 友の会会長	堀内 三郎																			
■ 会長	島倉 敏夫																			
■ 副会長	松倉 正機	武藤 憲夫	能瀬 実																	
■ 顧問	堀内 康男	宮腰 光寛	横山 栄	大野 久芳																
■ 参与	伊東 景治	松本 正則																		
■ 監事	南保 弘幸	鮫沢 裕二	(黒部市国際文化センター局長)																	
■ 事務局長	三井 適夫																			
■ 事務局次長	三井 香																			
■ 理事	田中 義三	広野 誠	藤田 信幸	越 雄一	前田 ふさ	高岡 尚子														
	杉沢 禎子	朝田美尾子	角本 睦子	三浦 博子	大坪由美子	松谷 茂樹														
	上田 洋一	辻 和夫	能登 恭子																	
	飯田浩子	(宇奈月国際会館セレネ)																		
	飯田浩子	二本松洋子	(入善高校教諭)																	
■ 合唱指導	三井 香	二本松洋子	(入善高校教諭)																	
■ 合唱伴奏	林 亜希子	法原留美佳	大丸 智史	(富山商業高校生)																

## 黒部第九友の会会員 会長 堀内 三郎

### ■黒部で第九を歌う会会員および理事

朝田美尾子	第九を歌う会理事	島倉 敏夫	第九を歌う会会長	松原 英樹	第九を歌う会会員
飯田 浩子	第九を歌う会理事	島瀬 節子	第九を歌う会会員	松村美智代	第九を歌う会会員
石川 和子	第九を歌う会会員	杉沢 禎子	第九を歌う会理事	三浦 博子	第九を歌う会理事
伊東 景治	第九を歌う会参与	高岡 尚子	第九を歌う会理事	三井 適夫	事務局長
稲場千恵子	第九を歌う会会員	高見 玲子	第九を歌う会会員	三井 香	事務局次長
稲守千榮子	第九を歌う会会員	高村 広子	第九を歌う会会員	宮崎 邦子	第九を歌う会会員
岩井 清美	第九を歌う会会員	高本 武	第九を歌う会会員	宮崎 昌訓	第九を歌う会会員
上田 洋一	第九を歌う会理事	立野 富子	第九を歌う会会員	武藤 憲夫	第九を歌う会副会長
大坪由美子	第九を歌う会理事	辻 和夫	第九を歌う会理事	村井 富子	第九を歌う会会員
荻野 敦子	第九を歌う会会員	東 狐 和	第九を歌う会会員	村瀬 葭雄	第九を歌う会会員
角本 睦子	第九を歌う会理事	長田 雅子	第九を歌う会会員	村瀬 靖子	第九を歌う会会員
川尻久美子	第九を歌う会会員	南保 弘幸	第九を歌う会理事	村田美紀子	第九を歌う会会員
木戸 利子	第九を歌う会会員	能瀬 実	第九を歌う会理事	森 多加子	第九を歌う会会員
桐 富子	第九を歌う会会員	能登 恭子	第九を歌う会理事	森山 静子	第九を歌う会会員
草野 洋子	第九を歌う会会員	八川 進	第九を歌う会会員	安原 麗子	第九を歌う会会員
熊野 幸子	第九を歌う会会員	花岡 光子	第九を歌う会会員	山瀬由美子	第九を歌う会会員
越 雄一	第九を歌う会理事	平野 朝子	第九を歌う会会員	余 西 典子	第九を歌う会会員
五艘万里子	第九を歌う会会員	藤田 信幸	第九を歌う会理事		
近藤外喜子	第九を歌う会会員	舟本 順子	第九を歌う会会員		
近藤 桂子	第九を歌う会会員	前田 ふさ	第九を歌う会理事		
堺井小百合	第九を歌う会会員	松谷 茂樹	第九を歌う会理事		

あいうえお順(敬称略)

# 皆様のあたたかいご支援により第8回名水の里

(株)四十物昆布 黒部市	大野衣料店 黒部市	中野 保夫 (株)ナカノ代表取締役会長
朝倉 秀芳 (有)カーメンテナンス朝倉	黒部市芸術文化振興協会	蓮池 淑子 黒部市
浅野 博 浅野ヒッタ家具工業(株)代表取締役	黒部中央ロータリークラブ	長谷川光一 東洋ゼンマイ(株)代表取締役
岩井 恵澄 愛児園園長	黒部ロータリークラブ	晴被鉄工 黒部市
植木 真人 (株)植万代表取締役社長	神谷 尚機 桜井交通(株)代表取締役	森野 泰夫 (株)ホテルアクア黒部代表取締役
上田とよ子 黒部市	坂本 利子 坂本記念病院	山口 正人 (株)山口技研代表取締役社長
梅川 哲也 うめかわ歯科クリニック	大丸 勝男 (有)ダイサン大丸水産代表取締役社長	山澤 蔦枝 黒部市
大坪 作麿 生地第一温泉	中田 勝代 中田音楽教室	(株)吉田商会 黒部市
		渡部 佐敏 (有)タートルライン代表取締役

## 川端鐵工(株)

黒部市生地芦区247  
☎0765-56-8163

## 黒部クリーン(株)

黒部市北野47-2  
☎0765-52-0047

## (株)サニードライブロダクト

黒部市堀切1525-1  
☎0765-54-2700

## 菅野印刷興業(株)

黒部市若栗2630  
☎0765-54-0112

## 装苑ひろの

黒部市牧野311(メルシー内)  
☎0765-54-1203

## 第一建設(株)

黒部市飯沢1077  
☎0765-56-8125

## (株)トヨックス

黒部市前沢4371  
<本社>☎0765-52-3131

## (株)ニイカワポータル

黒部市新牧野152  
☎0765-54-5355

## 北陸機材(株)

富山市綾田町1-6-22  
☎076-441-5411

## 松倉呉服店

黒部市三日市3117  
☎0765-54-0529

## (株)ミツイ

黒部市中新398  
☎0765-52-0092

## (有)宮腰工業所

黒部市石田6966  
☎0765-52-1811

## 生地温泉 たなかや

黒部市生地吉田新230 ☎0765-56-8003

## (株)堀内商会

黒部市荻生6855 ☎0765-54-0511

第九コンサートを開催することができました。

## 黒部ライオンズクラブ

会長 中野 保夫

## 黒部金融協会

## 北日本新聞社

富山市安住町2-14 ☎076-445-3300

YKK AP株式会社

黒部C&Gサービス株式会社

黒部警備株式会社

YKKテクナート株式会社

YKKビジネスサポート株式会社

株式会社YKKツーリスト

株式会社YKK保険サービス

黒部石油販売株式会社

株式会社エッセン

黒部エムテック株式会社

YKKテクノサービス株式会社

## YKK株式会社